

---

洞

柊鏡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

洞

### 【Nコード】

N0467G

### 【作者名】

柊鏡

### 【あらすじ】

「あれよ。あれ」「ああ、あれか」「彼女があれあれをあれしたので、ぼくはあれをあれして、これした。」

「あれよ。あれ」

「ああ、あれか」

彼女があれあれをあれしたので、ぼくはあれをあれして、これした。

「そういえば、これはそれなの？」

彼女がこれをそれして、あれだとあれするので、ぼくはこれをあれした。

「そうそう、あれはこれでそれ」

「ふうん。あれはこれでそれがそれするのね」

「そうそう、だからこうなって、そうなって、あれになるんだ」

ぼくはあれする彼女に、これしながら、このようにあれした。

「あれはあれだね、そうあれ、あれみたい。あれ」

「ああ、あれもあれだね。あれすぎて、それすぎ」

彼女がこれをそれして、あれだとあれするので、ぼくはこれをあれした。

ぼくはこれがこうなって、それぞれなので、それになって、それすぎて、だから、それした。「それをそれして、あれしろよ」

あれするぼくに彼女は、そのようにあれしながら、ああした。

「これよ。それがそれすぎて、それなのよ。それしなさいよ、それ。いやいや、これがそれね。いいえ コレがそれで、それなのか、それがこれでこれなのか、これがそうなの？」

「いやいや、それがそれなら、これはこれこれで、それになるだろ  
う」

「うん」

「これはこれだから、これなんだよ。あれはあれだから、あれであ

って、これじゃなくって、だからね、これはこれであって、それはそれじゃなくって、結果的にそれでそれするのが、あれなんだよ」

彼女がこれをそれして、あれだとあれするので、ぼくはこれであれした。

「あれあれ、あれがそれ。うん、これがこーなるのね、そうね」

「うん、そうそう。それがこれ、これこれ。これこれ、あれ」

「つまり、あのことがそれで、そうだったから、これがそれして、あのことになるわけね」

ぼくはこのことをそれであるから、これであるとそれした。

彼女はあのことをあれのようにこれしながら、これした。「あれ。このことがこれで、どれがこれでこれか、これであるこれでそうなるのね」

「イエス」

そういうことになった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0467g/>

---

洞

2010年12月5日11時53分発行